

はしがき

本報告書は、当研究所の令和3年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）「国際秩序変容期の競争と連携—グローバルガバナンス再構築に向けた日本外交への提言」プロジェクトにおいて実施した「経済・安全保障リンケージ研究会」の研究成果をまとめたものです。

戦後の日本は、自由で開かれた国際経済体制の恩恵を受けて、平和と繁栄を享受してきました。自由な交易と競争を保証する自由貿易体制が安定的であることが日本の経済発展の基盤であったのです。しかし、現在、その国際秩序が大きな変容期を迎えています。中国やインドなど新興国の台頭による国際政治のパワーバランスの変化のみならず、先進国による多国間主義に背を向けた自国第一主義ともいえる現象の顕在化は、既存の国際経済システムに挑戦を突き付けています。その結果、経済のグローバル化やデジタル化が進行する一方で、国家（政府）の役割も高まってきています。国境を越えたサプライチェーンや金融システムが外交政策ツールとして多用されるなど、国際経済の領域は、従来型の経済外交の範疇を超えて安全保障の重要な要素となっています。もはや国内外の経済領域は国際的なパワーポリティクスと無関係ではられません。このような国際秩序変容期において、新たな地政学的競争を背景とした経済と安全保障のリンケージを検討することは、日本外交にとって喫緊の課題です。

「経済・安全保障リンケージ研究会」（主査：飯田敬輔・東京大学公共政策大学院教授）は、国際秩序変容期における地政学的競争を背景とする経済と安全保障のリンケージと地球規模課題に関する国際的な連携の在り方について調査分析を行い、グローバルガバナンス再構築に向けた日本外交への提言を行うことを目的とする事業の一環として、主に経済安全保障問題を扱っています。具体的には、経済と安全保障が交叉する領域に主に焦点を当て、インフラ開発、安全保障にかかる対内直接投資、経済制裁、人の移動、国際通商法と安全保障の関係、自由貿易協定（FTA）、エネルギー・トランジション、データ・ガバナンス等の重要なテーマを広くカバーしています。同事業の下で地球規模課題に関するグローバルガバナンス問題（気候変動・伝染病・SDGs等）を扱う「地球規模課題研究会」（主査：赤坂清隆・元国連事務次長）と連携することで、学際的なアプローチで研究課題に取り組んでいます。

本報告書は3か年計画の2年目にあたる「中間成果」の位置づけであり、さらなる研究の深化が求められる部分も多く含まれます。読者の皆さまから忌憚なきご意見、ご批判をいただければ幸いです。また、本報告書に表明されている見解は全て各執筆者個人のものであり、所属の機関や当研究所の意見を代表するものではありません。

最後に、本研究事業に終始積極的に取り組まれ、本報告書の作成にご尽力をいただいた執筆者各位、その過程でご協力いただいた関係各位に対し、深甚なる謝意を表します。

令和4年3月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 佐々江 賢一郎

研究体制

主査：	飯田 敬輔	東京大学公共政策大学院教授	
委員：	伊藤 亜聖	東京大学社会科学研究所准教授	
	稲田 十一	専修大学教授	
	浦田秀次郎	早稲田大学名誉教授	
	岡部みどり	上智大学法学部教授	
	河合 正弘	環日本海経済研究所 代表理事・所長／ 東京大学名誉教授・同公共政策大学院客員教授	
	川瀬 剛志	上智大学法学部教授	
	佐藤 丙午	拓殖大学教授／日本国際問題研究所客員研究員	
	城山 英明	東京大学公共政策大学院教授	
	杉之原真子	フェリス女学院大学国際交流学部教授	
	中谷 和弘	東京大学大学院法学政治学研究科教授	
	芳川 恒志	東京大学公共政策大学院特任教授	
	委員兼幹事：	市川とみ子	日本国際問題研究所 所長
		永瀬 賢介	日本国際問題研究所 研究調整部長
高山 嘉顕		日本国際問題研究所 研究員	

目 次

はじめに	……………1
序章 経済と安全保障のリンケージについて	
	飯田 敬輔……………7
第1章 途上国のインフラ開発と日中の対応 ——国際的枠組みの強化に向けて	
	稲田 十一…………… 17
第2章 対内直接投資規制と安全保障：米国の事例から	
	杉之原真子…………… 31
第3章 経済制裁の国際法構造	
	中谷 和弘…………… 41
第4章 国際構造変動期における外交問題としての人の越境移動 ——安全保障上の脅威の再検討と国際協力の課題	
	岡部みどり…………… 51
第5章 貿易と安全保障—接近・摩擦と関係性の変容—	
	川瀬 剛志…………… 61
第6章 FTA と経済安全保障	
	浦田秀次郎…………… 75
第7章 脱炭素と中東	
	芳川 恒志…………… 87
第8章 自由な越境データ流通と多様な公共政策目的の調整	
	城山 英明…………… 97
第9章 米中の通貨・金融覇権競争： ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧日による対ロ 金融制裁の含意	
	河合 正弘……………111

